

令和7年2月6日14時00分

近畿地方整備局
兵庫国道事務所

一般国道176号名塩道路の工事状況について

～硬質岩出現・設計見直しを含めた検討のため開通時期を見直し～

- 一般国道176号名塩道路(延長10.6km)の城山地区切土工事において、工事用道路の掘削中に大きな岩塊の落下や硬質岩が出現するなど、当初想定していない地山状況であることから、詳細な地質調査(亀裂の範囲や岩の強度、風化の程度等)を実施し、地山全体の岩特性と分布を把握する必要が生じました。
- 追加調査した結果、亀裂の多い表層下の浅い位置に硬質岩が広く分布していることを確認しました。
- 有識者検討会で対応を確認したところ、以下の意見をいただきました。
 - 当初予定している上下同時作業は岩塊落下の危険があるため、上下作業は避け安全に施工すべき。
 - 切土作業の硬質岩への対応は、軟岩よりも相当な時間を要する。
 - 今後の対応として、設計を見直すことも有力な選択肢。
- 有識者の意見を踏まえ、設計の見直しも含めた検討が必要となり、その結果、令和8年春開通予定(西宮市塩瀬町～生瀬町:延長2.2km)としていた開通時期の見直しが必要となりました。
- 見直し後の開通時期については、今後の設計見直しも含めた検討状況を踏まえて工程精査し、改めてお知らせします。

■開通時期の見直し(西宮市塩瀬町～生瀬町:延長2.2km)

＜現在＞ 令和8年春開通予定 ⇒ ＜見直し後＞ 工程精査中

＜取扱い＞

＜配布場所＞

近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ
兵庫県政記者クラブ、神戸市政記者クラブ、西宮市政記者クラブ

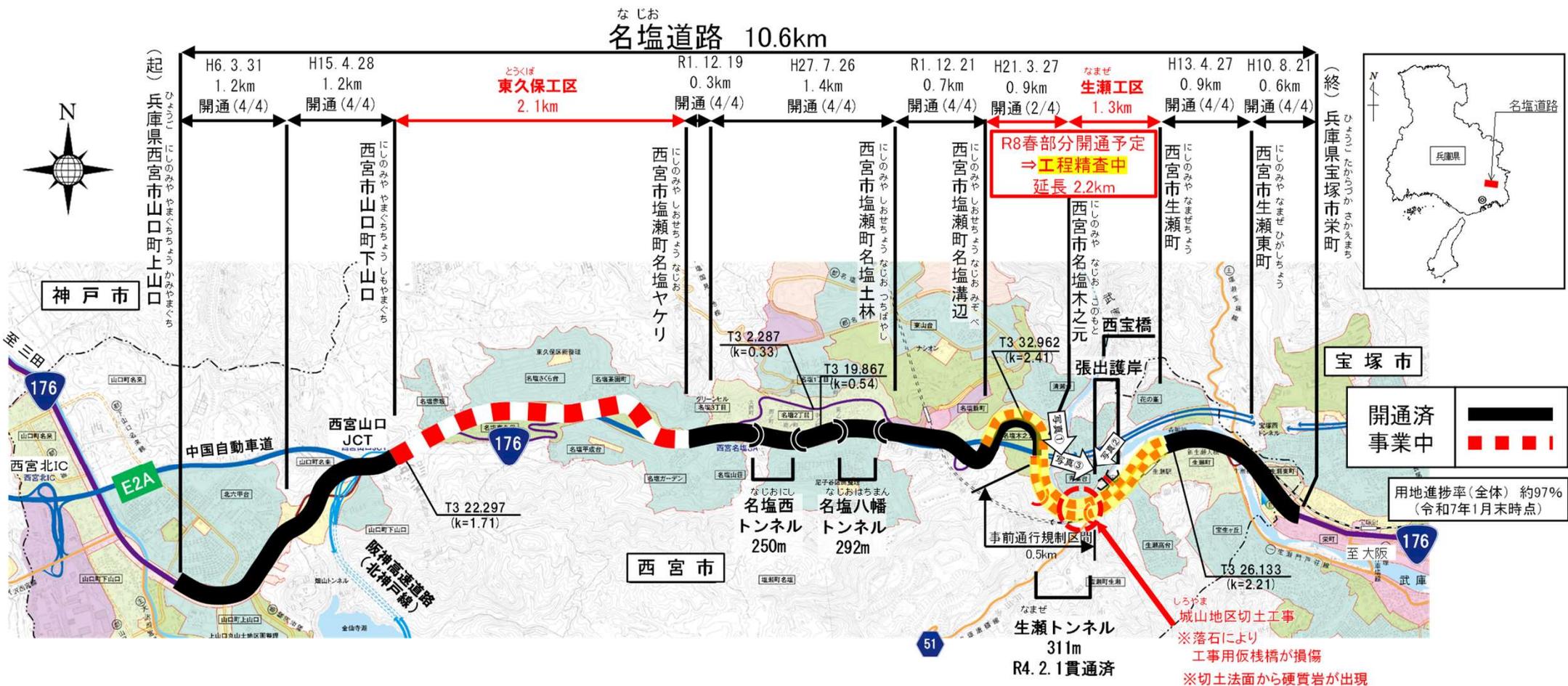
＜問合せ先＞

近畿地方整備局 兵庫国道事務所
副所長 松下 幸男(まつした ゆきお)
計画課長 桑野 豊(くわの ゆたか)
TEL 078-334-1600(代表)

一般国道176号 名塩道路 事業概要

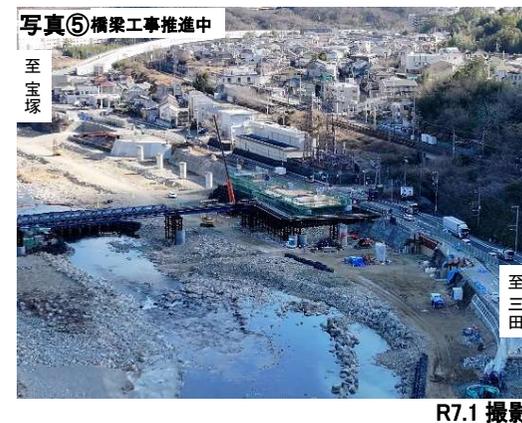
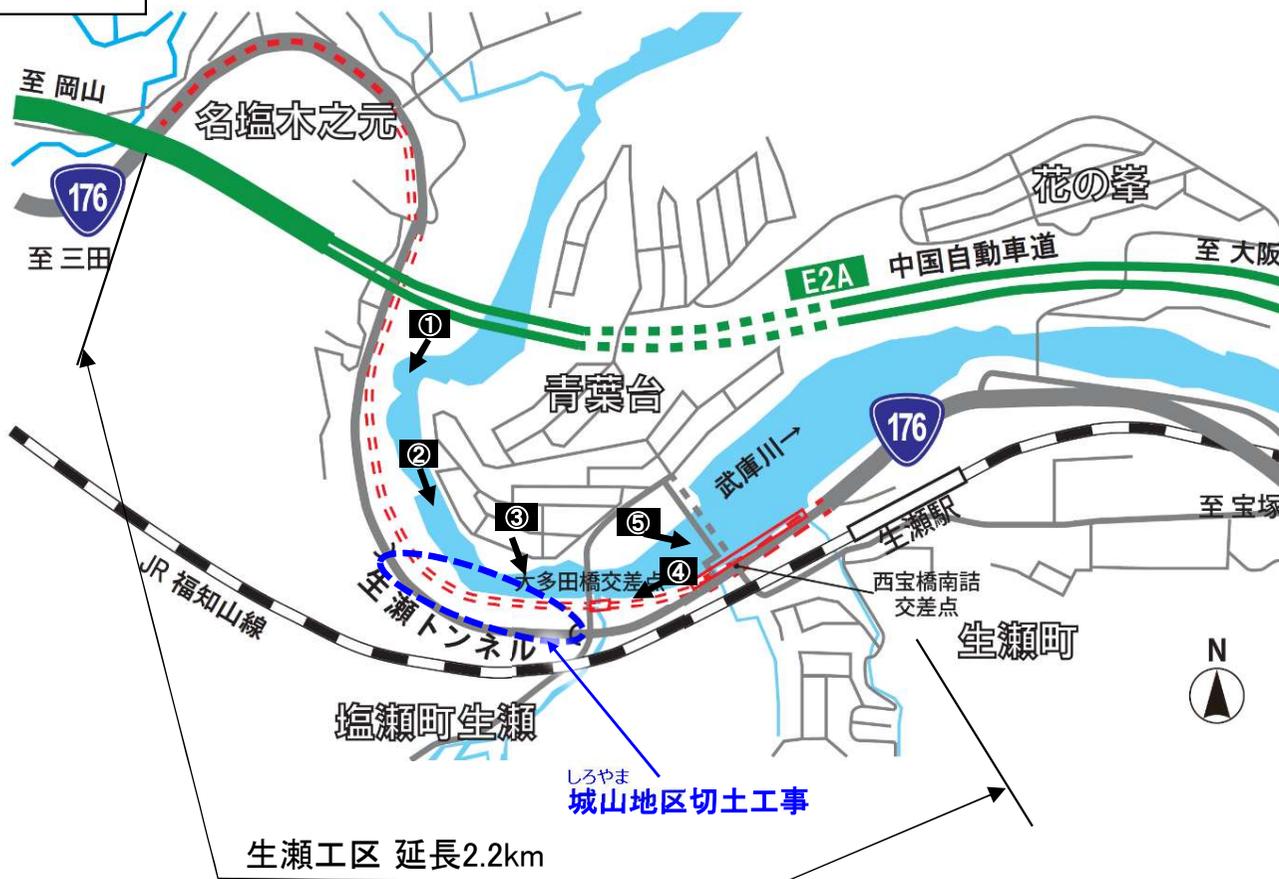
なほ

- 一般国道176号は、京都府宮津市から阪神北部地域を經由し大阪府大阪市に至る延長約180kmの主要幹線道路。
- 名塩道路は、西宮市山口町から宝塚市栄町までの延長約10.6kmの現道拡幅およびバイパス事業で、交通混雑の緩和、交通安全の確保及び異常気象時の交通確保を目的とした道路。
- 西宮市山口町～西宮市塩瀬町名塩(東久保工区)及び西宮市塩瀬町名塩～西宮市生瀬町(生瀬工区)で改良・橋梁工事を事業中



事業の進捗状況

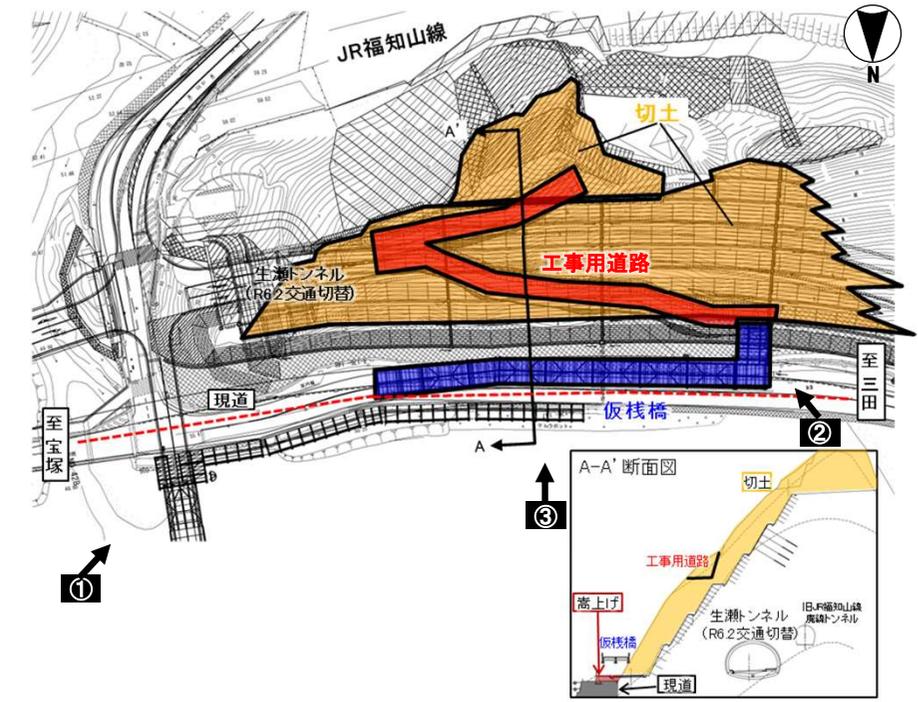
○ 全線にわたって改良工事、橋梁工事を推進中



工事進捗に伴う課題 <城山地区切土工事>

○城山地区切土工事において、工事用道路の掘削中に大きな岩塊の落下や硬質岩が出現するなど、当初想定していない地山状況であることが判明。

位置図



工事用道路掘削によって硬質岩が確認された地山の状況



現在の状況でも、落石等が発生

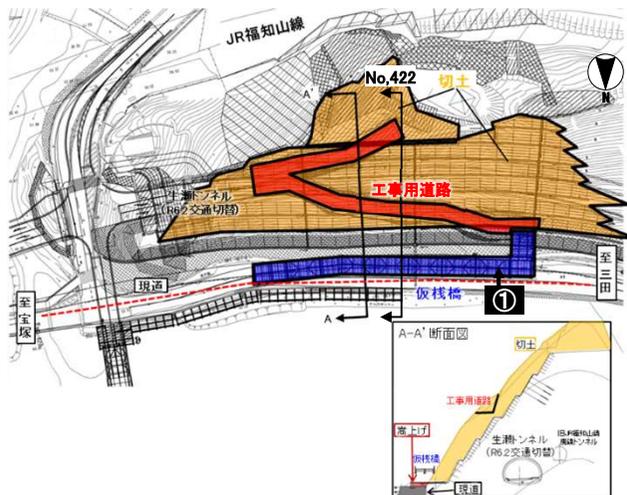


工事進捗に伴う課題 <城山地区切土工事>

【有識者検討会での主な意見】

- 当初予定している上下同時作業は、岩塊落下の危険があるため、上下作業は避け、安全に施工すべき。
- 切土作業の硬質岩への対応は、軟岩よりも相当な時間を要する。
- 今後の対応として、設計を見直すことも有力な選択肢。

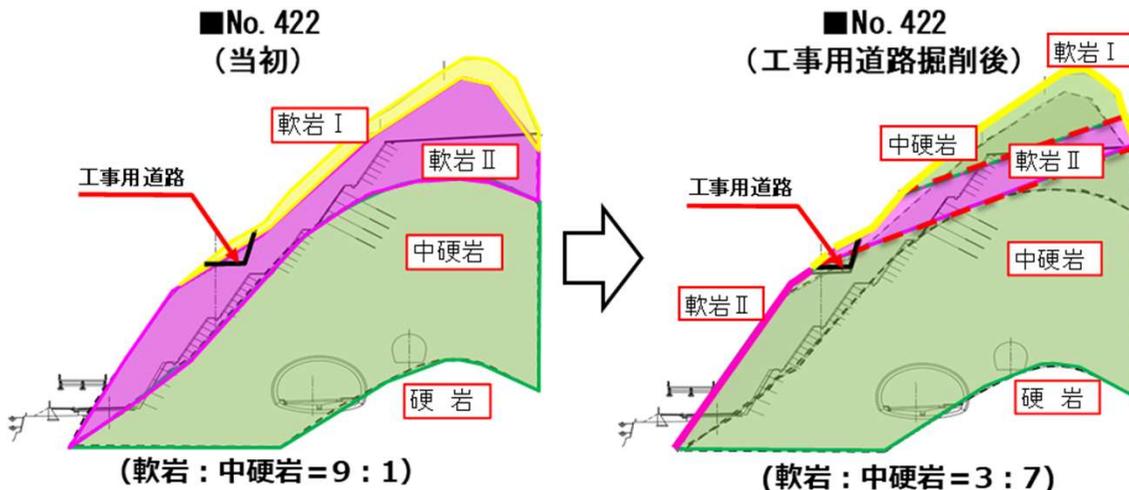
■ 工所用道路の掘削中に、大きな岩塊が落下



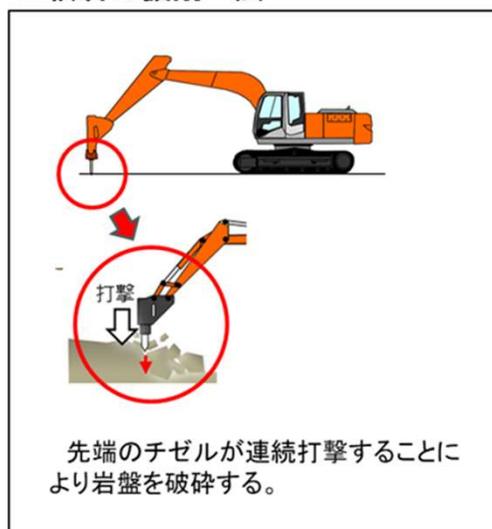
■ 落石発生時の状況 写真①



■ 追加地質調査により、当初想定よりも硬質岩の割合が大きい地山状況であることが判明



■ 軟岩の掘削工法



■ 硬質岩の掘削工法

